

令和2年度（2020年度）神奈川県知的障害施設団体連合会 事業報告

I 概要

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により世界中が混乱し、国内では年度内に緊急事態宣言が2度発令されるなど歴史的な1年となりました。そのような流れの中で、福祉はセーフティネットとして利用者ご本人、ご家族の命と暮らしを守るため継続した支援に努めてきました。福祉施設・事業所は、徹底した感染予防対策の取組みとともに、生産活動については、社会活動の自粛によるイベント中止、販売・納品先の減に見舞われたり、地域の皆様との交流が十分に出来なかったりと大変もどかしく苦慮する一年となりました。年度後半に医療従事者に対してワクチン接種は始まっていますが、変異株の流行も始まり予断を許さない状況は続いています。

神奈川県知的障害施設団体連合会（以下、県連合会という）は、新型コロナウイルス感染症対策としまして、4月末から5月末にかけて実態調査アンケートを実施し、会員施設の状況把握と意見、要望をまとめて、県行政へ伝えるとともに会員施設へ周知を図りました。市町村ごとに異なる対応についての情報は現場の調整協議に役立ちました。7月以降、会員施設においても徐々にコロナ陽性者が判明することになり、一部の法人・施設ではクラスターに発展しました。

そのような中でも4縣市協会で感染予防対策、発生対応事例等の情報共有を図り、協力体制で乗り切りました。結果として県内の知的障害関係の施設・事業所の計40ヶ所から利用者、職員の陽性者が出ました。

その経過の中で、県は「社会福祉施設等への応援職員派遣支援事業」を制度化し神奈川県社会福祉協議会（以下、県社協という）へ委託し、県連合会からも協力を呼びかけ知的障がい部門で21法人71名の職員が登録しました。高齢部門と合わせると登録職員計183名のうち県連合会からの職員が39%に当たります（2021.3.15現在）。幸いなことに年度内は、障がい部門の施設・事業所からの派遣要請はありませんでした。

自然災害では2019年の台風15号、19号の被害につきまして、（公財）日本知的障害者福祉協会（以下、日知協という）、（公社）群馬県知的障害者福祉協会から寄せられた義援金6,226千円を被害に遭われた20施設・事業所へ6月に配分完了しました。

県連合会は、かながわ災害福祉広域支援ネットワークの構成団体として、神奈川県災害派遣福祉チーム（神奈川 DWAT）の創設に協力することを神奈川県と基本協定を1/26締結し会員施設へ呼びかけ、県連合会からは法人、施設の理解を得て14法人27施設から23名の候補者のうち研修を受講して16名がチーム員登録を完了しました。このたび神奈川 DWAT にチーム員登録された7協定締結団体の計33名のうち県連合会からの職員が48%に当たります（2021.3.12現在）。今後も防災活動については県、県社協と連携して進めてまいります。

このコロナ禍の影響を受けて感染拡大防止の観点から、人権委員会が毎年開催してきた新人職員対象の人権研修会、オンブズマンや施設職員の交流と研修の場である「オンブズマンネットワーク交流研修会」及び利用者主体の活動である「あおぞらパーティー」を止む無く中止としました。また研修委員会としてはオール神奈川で開催し、例年300名を超えて参加者がある「第38回実践報告会」も中止としました。今後はオンライン等を活用する研修のあり方も検討していきます。

2016年7月26日に起きてしまった津久井やまゆり園事件について、19名の御霊に心から黙祷を捧げる「やまゆりの日」があります。しかし、コロナの影響から例年通りの追悼式、人権講演会は取り止め、県連合会長のメッセージ発信（連合会HPに掲載）と、三役等の役員で、7/26現地を訪問し献花いたしました。事件後4年が経過、2020年1月に公判が始まり3月末に極刑が言い渡されました。裁判では被告の刑事責任能力の軽重、有無が焦点となり、事件の真相に迫る「なぜ？」の解明には至りませんでした。「元職員」という事実が、福祉の現場を守る私たちにとって重くのしかかり、深い反省と教訓の中で、改めて「あおぞらプラン」の推進を誓いたいと思います。

懸案事項である県連合会の法人化については、設立登記の準備は進めてきましたが、コロナの影響で設立に係る手続き、総会等の開催が難しいと判断し、次年度に延期することを役員会で決めさせていただきました。

神奈川県福祉の拠点となる反町に建設されている「神奈川県社会福祉センター」への移転に向けて、神奈川県、県社協と調整協議を進めてきました。賃貸借料については2019年9月に入居団体からの請願書を県議会が採択したことで、県の補助金が確定し軽減されることになっています。県連合会は神奈川県障害児者団体連絡協議会の構成団体として、やまゆり生活サポート協会、手をつなぐ育成会とともに事務局を2021年7月末に移転するための準備を進めてきました。

2020年度は事務局機能の強化を図るためPC機器、ネット環境等を整備し、年度後半にはzoomライセンスを取得しオンライン会議に切り替えて理事会、総務委員会等を開催しました。さらに県連合会ホームページを見やすいデザインにリニューアルするために役員等の意見を募り担当者として作業を進めてきて継続中です。

県連合会は日知協の地方会として、関東地区知的障害者福祉協会と共に階層的な組織になっています。国との協議調整も日知協を通して行っていることから意見、要望等はとりまとめて情報共有に努めました。特に令和3年度障害福祉サービス等報酬改定については年度後半には、随時経過も踏まえて説明資料の配信に努めました。

日知協「第7回全国小・中学生障がい福祉ふれあい作文コンクール」においては、オール神奈川で小中学校に本企画の周知に努め、コロナ禍に関わらず沢山の応募をいただきました。

特に40作品を応募いただいた県立平塚中等教育学校が学校賞を受賞され、表彰状及び記念品を役員が3/3お届けし祝福を申し上げました。

2020年度の神奈川の障がい福祉の大きな流れは、津久井やまゆり園事件の裁判結果を受けて始まった施設における支援状況の検証から始まりました。第三者委員による検証委員会が設置されましたがコロナの影響で、施設現場のヒアリングは出来ずに5月に中間報告書が出され終了となりました。その流れを引き継いで神奈川県障害者施策審議会の中に「障害者支援施設における利用者目線の支援推進検討部会（利用者目線の部会という）」が7/8設置されました。あらゆる知見を集めた未来志向の支援を検討するために、県連合会からは安藤氏（県協会顧問）、中島氏（相模原協会会長）が委員として就任しました。議論の主な焦点は身体拘束の有り様でした。7/29に第1回目の部会が開催され、以降県立、指定管理の計6施設についてのヒアリングと、計7回の部会を経て最終報告書がまとめられました。抽出した記録の検証に加え、ヒアリング調査では身体拘束の3要件の適用の可否について指摘されています。記録当時の状況、認識の相違、県立施設の機能役割、ガバナンスの問題、さらに監督指導する側の県の姿勢・認識にも指摘は及びました。またヒアリング対象施設で年度途中、虐待の疑いがある案件が発生したことも追い打ちをかける要因となりました。施設現場では身体拘束の軽減、解除に向けて取り組んでいる状況もありますので、最終報告書を受けて次の段階に進む方向性に注視してまいります。

「利用者目線の部会」に関連して、県連合会の障害者支援施設部会は9月に「民間障害者支援施設における基本情報アンケート」を実施し現状把握と意見集約に努めました。

神奈川県立障害福祉関係施設（津久井やまゆり園及び芹が谷やまゆり園）指定管理者評価委員会が7/28設置され、利用者目線の部会と同時進行的に開催されました。県連合会からは川合氏（県協会副会長）が委員として就任しました。この評価委員会でもガバナンスの問題を追及されることとなり、指定管理法人の理事会の抜本的改善を条件に選定された経緯がありました。

2020年度は、コロナ禍において感染の脅威に晒されている状況に加えて、利用者目線の部会の議論からも、改めて認識して進むべきものもあると思います。

つきましては、1994年の27年前、利用者ご本人と共につくった「あおぞらプラン」の理念に立ち返り、その実践に努めることが私たちの進むべき道であると信じ、次年度に臨んでまいりたいと思います。

II 事業の実施状況

1. 理事会・総務委員会等の開催

第1回 総務委員会 4月14日（火）13:00～14:00 県社会福祉会館 第3会議室

第1回 理事会 5月12日(火) 書面決議

- ① 役員改選について
- ② 部会代表者等の選任について
- ③ 令和元年度事業報告について
- ④ 令和元年度決算報告について
- ⑤ 令和2年度事業計画について
- ⑥ 令和2年度予算について
- ⑦ 報告事項
 - ・日本協会からの台風15・19号義援金配分について
 - ・新型コロナウイルス禍について
 - ・津久井やまゆり園について
 - ・事業、大会等予定
- ⑧ その他

第1回 三役会 6月2日(火) 13:30~15:00 県社会福祉会館 第3会議室

- ① 「やまゆりの日」研修会の開催について
- ② 津久井やまゆり園利用者支援検証委員会中間報告と今後の利用者目線の支援推進検討部会について
- ③ 理事会の開催について
- ④ 連合会法人化に向けての準備
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症対策について
- ⑥ ホームページのデザインリニューアルについて
- ⑦ 台風義援金の配分状況について
- ⑧ 「ともに生きる社会かながわ憲章」の普及に係る#リスペクトでつながろうマスクプロジェクトへの協力について
- ⑨ (仮称)県社会福祉センターへの移転準備
- ⑩ 関東地区知的障害者福祉協会会長・事務局長会議について
- ⑪ 実践報告会について

監事監査 7月7日(火) 10:00~12:00 県社会福祉会館 第1会議室

(河原監事・阿部監事・出縄・今井)

第2回 総務委員会 7月14日(火) 10:00~12:00 県社会福祉会館 第1研修室

第2回 理事会 8月3日(月) 15:00~17:00 県社会福祉会館 第1会議室

- ① 中井やまゆり園の利用者虐待の件
- ② 実践報告会の件
- ③ 新型コロナウイルス感染症の件
- ④ 津久井やまゆり園関係の件
- ⑤ 連合会法人化の件
- ⑥ ホームページ・パソコンの件
- ⑦ ゆうあいピックの件
- ⑧ (仮称) 県社会福祉センターへの移転の件
- ⑨ 防災委員会より
- ⑩ その他

第3回 総務委員会 9月11日(金) 14:00~16:00 県社会福祉会館 第3研修室

第3回 理事会 11月9日(月) 14:00~16:00 県社会福祉会館 第3・4研修室

- ① 新型コロナウイルス感染症の件
- ② 障害者支援施設における利用者目線の支援推進検討部会の件
- ③ 津久井やまゆり園事件関係の件
- ④ 第7回作文コンクールの件
- ⑤ ホームページ・パソコンの件
- ⑥ 連合会法人化の件
- ⑦ ゆうあいピックの件
- ⑧ 県社会福祉センターへの移転の件
- ⑨ 神奈川県災害派遣福祉チームの件
- ⑩ 四縣市協会報告

第4回 総務委員会 11月27日(金) 14:00~16:00 県社会福祉会館 第3・4研修室
(新型コロナウイルス感染症対策に関する意見交換会)

四縣市合同企画政策委員会 12月14日(月) 県民サポートセンター305会議室

第5回 総務委員会 2月2日(火) 13:00~15:00 zoom 会議

第4回(臨時) 理事会 2月8日(月) 13:00~15:30 zoom 会議

- ① 新型コロナウイルス感染症に係る県の新規事業に関するもの
- ② その他情報交換

第5回 理事会 2月19日(金) 14:00~16:00 zoom 会議

- ① 新型コロナウイルス感染症の件
- ② 障害者支援施設における利用者目線の支援推進検討部会の件
- ③ 津久井やまゆり園関係の件
- ④ 連合会法人化の件
- ⑤ 県社会福祉センターへの移転の件
- ⑥ 神奈川県災害派遣福祉チーム(神奈川 DWAT)への協力の件
- ⑦ 日本知的障害者福祉協会からの依頼の件
- ⑧ 報告事項
- ⑨ その他

第6回 総務委員会 3月24日(水) 14:00~16:00 zoom 会議

2. 法人化への取り組み

2019年度より、横浜駅西口公証センターには定款認証について、横浜地方法務局本局には設立登記申請について相談し、事務的な準備は進めてきたが、コロナの影響で設立に係る手続き、総会等の開催が難しいと判断し、次年度に延期することを役員会で決定した。

3. 連合会事業の実施

(1) やまゆりの日

やまゆりの日に向けてのメッセージを発信(会員へのメール配信・HP掲載)

7/26(日) 津久井やまゆり園にて献花(出縄・斎藤・弦巻・中島・安藤・近藤・今井)

(2) 支援スタッフ部会の実施

10月9日(金) 県民サポートセンターにて役員会の実施 4名参加

支援職員研究会は書面にて開催

3月4日(木) 令和2年度部会協議会(オンライン配信)への参加

(3) 事務研修部会の実施

新型コロナウイルス感染症緊急包括事業助成金使途内容アンケート調査実施

46法人 115事業所より回答

合同施設長会、新任職員人権研修、あおぞらパーティー、オンブズマンネットワーク交流研修会、実践報告会、医療看護研修会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。

4. 人権擁護の取り組み

(1) 合同人権委員会の開催

2月16日(火) 15:00~16:30 zoom 会議

(2) 情報共有

会員施設での虐待案件等についての役員間での情報共有

5. 防災に関する意見交換

(1) かながわ災害福祉広域支援ネットワーク

①連絡会

9月 1日(火) 10:00~12:00 波止場会館

11月27日(金) 10:00~12:00 産業貿易センター

3月12日(金) 14:00~16:30 zoom 会議

②研修

講演(基礎研修) 1月8日(金)~2月7日(日) Google Classroom による動画配信

演習I(基礎演習) 2月9日(火) zoom によるオンライン研修 6名参加

DWAT 登録研修 2月24日(水) zoom によるオンライン研修 23名参加

演習II(ステップアップ研修) 3月8日(月) zoom によるオンライン研修 16名参加

演習III(派遣調整本部設置訓練) 3月12日(金) zoom によるオンライン研修 2名参加

(2) 防災対策委員会

①委員会の開催

1月14日(木) 10:00~12:00 zoom 会議

② 2020年度の取り組みについて

◎ 協議事項: 神奈川県災害派遣福祉チーム(「神奈川 DWAT」)について

- ・神奈川県災害派遣福祉チームについて説明(資料活用)
- ・基本協定の締結について(事前徴収意見の検討含む)
- ・今後の周知活動及びスケジュールについて

◎ 意見交換等: 情報発信・情報収集の組織化について…事業所と法人の関係

- ・各地区の組織体制の構築の進捗確認
- ・啓発、周知活動(ポスターの作成の取り組み)
- ・法人単位での連絡網の構築
- ・防災訓練実施(第2弾の実施)

人材育成活動

- ・神奈川県の取り組み(県社協委託事業)
- ・次年度以降の課題(取り組みとして)

災害等に関する「啓発活動」

◎ 神奈川 DWAT の締結について

- ・神奈川県と団体連合会が「神奈川 DWAT 派遣に関する基本協定」締結（1/26）
- ・神奈川県災害派遣福祉チームの派遣に関する協定書（法人）協力施設募集（2月）
→14 法人 27 施設
- ・神奈川県災害派遣福祉チームへのチーム員登録研修（2/24）
→23 名候補者…16 名登録
- ・神奈川 DWAT チーム員登録者対象研修（3/12）

③台風 15 号・19 号義援金の配分実施

（公財）日本知的障害者福祉協会、（公社）群馬県知的障害者福祉協会から寄せられた義援金 6,226 千円を 20 施設・事業所へ 6 月に配分完了しました。

6. 日知協・関東地区協会の関連

- （1）6 月 19 日（金）関東地区会長・事務局長会議 ホテル東日本宇都宮
（出縄・斎藤・中島・近藤・阿部・今井）
- （2）6 月 12 日（金）日本知的障害者福祉協会定時評議員会 書面決議（出縄）
- （3）10 月 7 日（水）8 日（木）関東地区知的障害関係職員研究大会—栃木大会—
→感染症拡大の影響で来年度に延期
- （4）10 月 29 日（木）30 日（金）全国会長・事務局長会議
→感染症拡大の影響で中止、地方会別の web 会議に変更
- （5）12 月 24 日（木）関東地区会長・事務局長会議 オンライン会議
（出縄・斎藤・弦巻・中島・近藤・阿部・今井）
- （6）1 月 20 日（水）日本知的障害者福祉協会と関東地区会との意見交換会 オンライン会議
（出縄・弦巻・中島・阿部・今井）

7. 第 7 回全国小・中学生障がい福祉ふれあい作文コンクール

- ①募集 6 月 1 日から 10 月 16 日
- ②選考 10 月 30 日（金）10:00～11:00 県民サポートセンター701
- ③選考委員 村井良行（県域・藤沢サンライズ）、岡田和裕（県域・第 2 松風園）、
村川研一（横浜・愛）、安部淳子・池田（川崎・柿生学園）、住舎泰子（川崎・
しらかし園）、玉井美紀（相模原・銀河）
- ④表彰の授与
学校賞 神奈川県立平塚中等教育学校 3 月 3 日（水）訪問（出縄・今井康）
入選（小学生 4 作品、中学生 2 作品）は日本知的障害者福祉協会より賞状・
副賞が贈られた

8. 社会福祉法人のあり方、障害福祉制度についての意見交換

(1) 神奈川県障がい者施策説明会

3月11日(木) 感染症拡大防止のため、ホームページへの掲載を周知

9. 他団体との連携

(1) 神奈川県障害児者団体連絡協議会運営委員会

6月10日(水) 書面決議(安藤・出縄・斎藤・弦巻・中島)

(2) 一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会理事会

① 5月28日(木) 書面決議(安藤・出縄・斎藤・弦巻・中島)

② 9月10日(木) 10:00-10:40 県社会福祉会館(安藤・出縄・斎藤・弦巻)

③ 12月11日(金) 10:00-12:00 県社会福祉会館(安藤・斎藤・弦巻)

④ 3月24日(水) 10:00-12:00 県社会福祉会館(安藤・出縄・斎藤・弦巻)

(3) 神奈川県知的障害者施設保護者会連合会

10月9日(金) 13:30-15:30 意見交換会 県社会福祉会館(出縄・中島・安藤)

(4) (一社) 神奈川県障がい者スポーツ協会への協力

① 県連合会は神奈川県障がい者スポーツ協会の正会員として加入した。

② ゆうあいピック大会について巴事務局長と打合せ(出縄・赤司) 7/1(水) 善行スポーツセンターにて。県連合会の会員施設からはコロナの影響で参加はなかった。サッカー競技については例年通り七沢学園、進和学園から職員を派遣し協力体制をとった。

10. 神奈川県との連携

① 障害者支援施設における利用者目線の支援推進検討部会(神奈川県障害者施策審議会の部会として7/8設置)

県連合会からは安藤氏(県協会顧問)、中島氏(相模原協会会長)が委員として就任。

7/29 第1回目の部会が開催され、以降県立、指定管理の計6施設についてのヒアリングと、計7回の部会を経て最終報告書がまとめられました。

② 神奈川県立障害福祉関係施設(津久井やまゆり園及び芹が谷やまゆり園)指定管理者評価委員会
県連合会からは川合氏(県協会副会長)が委員として就任。

委員会は、7/28 第1回目から1/14まで非公開で計6回開催されました。

③ 津久井やまゆり園及び芹が谷やまゆり園開所式典運營業務委託に係る審査会

県連合会からは出縄氏(県連合会長)が委員として就任。3/9 審査会が県庁にて開催され出席。

④ 神奈川県社会共生推進課との連携

「ともに生きる社会かながわ憲章」の普及に係る#リスペクトでつながろうマスクプロジェクトへの協力として、会員施設へ参加を呼びかけ4事業所が参加しました。

以 上